

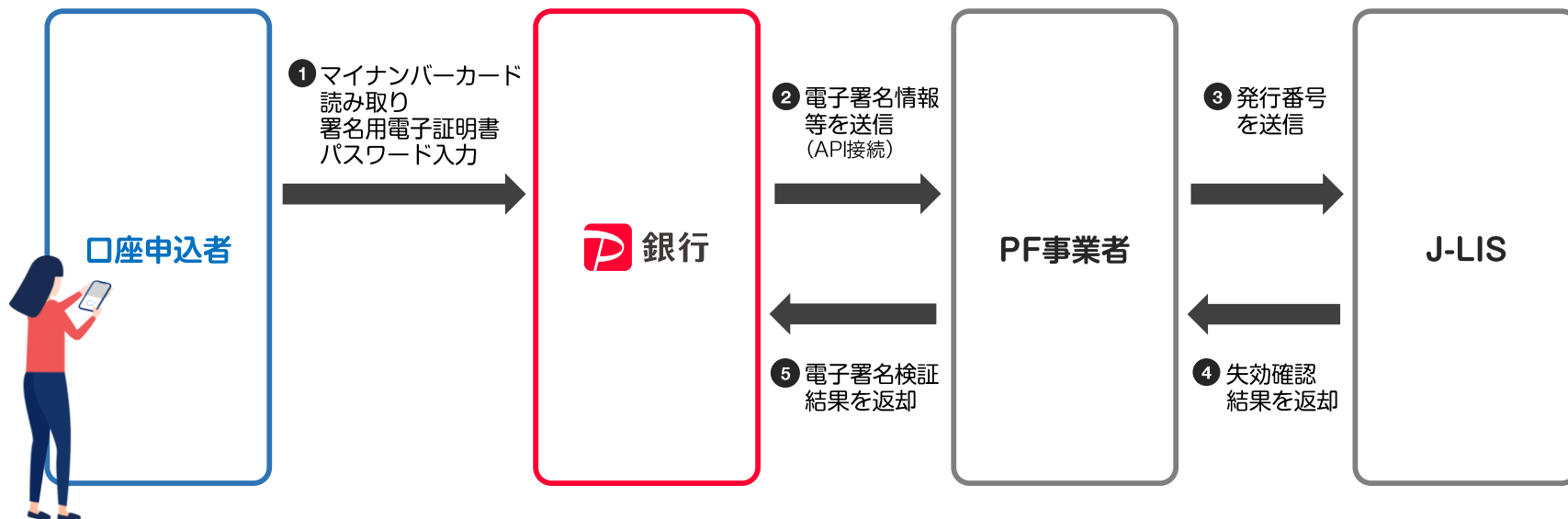


公的個人認証サービス(JPKI) に関するユースケース

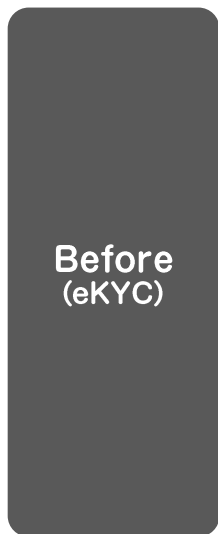
マイナンバーカードの公的個人認証サービス（JPKI）を利用して 銀行口座開設時の本人確認を実施したところ、以下が実現できました

- 氏名・住所・生年月日の情報をJPKIを活用して取得することで、**口座申込者の入力負担を軽減**
- 従来の本人確認方法（書面+容貌の撮影）から**大幅に手順ステップを削減**
- 口座申込者の誤入力に伴う**不備対応事務を削減**

本人確認フロー



銀行口座開設時の本人確認



- すべての情報の入力と書面撮影（表・裏・ナナメ）と容貌撮影が必要で、ステップ数が多く申込者の負担が高い
- 住所の入力不備が多く発生



- マイナンバーカードから必要な情報を取得するので、ステップ数が削減でき、申込者の負担も軽減
- マイナンバーカードの情報を利用するため住所不備を大幅削減

金融サービスを空気のように身近に

